

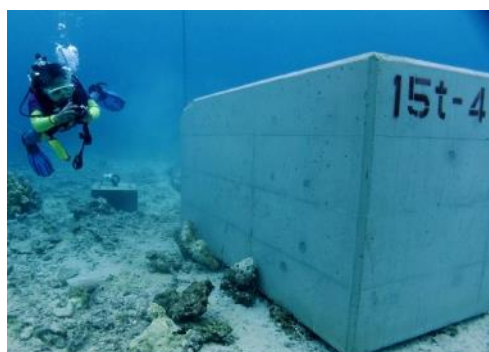
「仮設」はウソ!? 実は巨大な突堤— 安倍政権は “事実上の埋め立て工事” をやめろ!

辺野古と結ぶ 2.22 東京行動

●日時 2月22日(日) 12:30集合 13:00開始

13:30デモ出発(予定)

●場所 柏木公園(新宿区西新宿7-13 JR新宿駅下車6分) 地図>>裏



珊瑚を踏みつぶすトンブロック

安倍政権は基地建設に反対する沖縄の民意を踏みにじり、今まさに力づくで沖縄・辺野古への基地建設を進めています。連日、抗議行動を繰り返している沖縄の人々の闘いに連帯し、日本政府に対してこの首都圏で声を上げていきましょう—

—昨年12月、沖縄差別に満ちた安倍政権の「札束と恫喝」により、仲井真前知事は、それまでの姿勢を180度転換、辺野古の海の埋め立てを承認しました。これに対し、昨年1月の地元名護市長選挙、4月の名護市議会選挙では、反対を掲げた候補が勝利し、基地建設反対という住民の揺るぎない意志が示されました。

るところが防衛省沖縄防衛局は8月から埋め立て工事の第一段としてのボーリング調査を開始。陸上のキャンプシュワブ前では資材搬入に抗議する人々を警察が排除、弾圧を繰り返し、海上ではカヌーや船で抗議する人々に、海上保安官が暴力の限りを尽くし、けが人を出しています。

沖縄全島で政府の強権的な姿勢への怒りと辺野古の闘いへの支援が広まり、11月知事選では「オール沖縄」の候補、翁長氏が仲井真氏に10万票差で当選。12月総選挙も全小選挙区で基地反対の候補が当選しました。これ以上はないほど明確に民意が示されたにも関わらず、沖縄防衛局は年明けから工事を再開。埋め立て申請書や工事計画にもなかった、20トンから40トンという巨大なコンクリートブロックを、フロートやブイを固定するアンカーと称して辺野古の海にいくつも投入し、貴重な珊瑚を破壊しています。そして、ボーリング調査のための「仮設栈橋(岸壁)」と称して長さ300メートルに及ぶ本格的な突堤を建設しようとしています。

これは、「仮設」工事などではなく、事実上の埋め立て工事にはほかなりません。翁長知事は、仲井真前知事の埋め立て承認手続きを検証する第三者委員会の結論が出るまで、工事の中止を要請しましたが、工事は強行され、海保の暴力行為がいまも繰り返されています。沖縄では2月22日、辺野古現地で海上デモと集会が行われます。私たちも、同じ日、沖縄と連帯し、沖縄の意志を踏みにじる安倍政権への抗議を行動で示しましょう。

●呼びかけ 辺野古への基地建設を許さない実行委員会

<http://www.jca.apc.org/HHK/NoNewBases/NNBJ.html>

連絡先 沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック 090-3910-4140



» 新宿柏木公園 (新宿区西新宿 7-13 JR 新宿駅下車徒歩約6分)